# 令和８年度　小金地区意見交換会のテーマについて

（団体名）　シャンボール町会

（件　　名）　避難所小金小学校までの避難経路図作成における「確認の目安」について

（具体内容）

近年発生した大規模地震等では、家屋倒壊やブロック塀、瓦の散乱により道路が塞がれる状況が見受けられます。

当町会におきましても、小金小学校までの避難経路を一つに固定することの難しさを感じており、災害時の状況に応じて安全な経路を選択するための「基準や目安」を地区全体に共有する必要性を感じております。

そこで、実際に町会で避難経路を検討するための調査を実施したところ、各住宅のブロック塀の高さやひび割れ、２階以上の出窓の窓ガラスや室外機の落下物、歩道に面した自動販売機、道路幅など、災害時の避難に影響すると思われる箇所を確認しました。

一方、住民の高齢化や車椅子利用者の災害時の移動への不安があるほか、個人情報保護の観点から敷地内に立ち入らず、歩道からの目視確認にとどめているため、危険箇所の正確な把握に限界があります。

つきましては、今後の地区防災力の向上のため、以下２点について松戸市危機管理課のご指導・ご協力をお願いいたします。

１　避難経路図を作成するにあたり、危険箇所を確認・判断するための目安や考え方を市から示していただくことは可能ですか。

２　今後、避難所運営委員会で避難経路図を作成するにあたり、市から必要な情報や、確認方法への助言・協力をいただくことは可能ですか。

以上、２点の質問について、危機管理課のご対応についてご回答をお願いいたします。

（回　答）

＜質問１について＞

- 「ブロック塀の高さやひび割れ」「出窓ガラスや室外機の落下物」「道路幅」などは、災害時の避難を考える上で重要な着眼点です。
- 避難経路上の危険箇所を確認・判断するための「基準や目安」については、これまで市として地域にお示ししたものはありません。
- 今回のご相談を踏まえ、市として、災害時の避難経路を検討する際の一般的な目安や着眼点について、関係する防災資料や災害事例のほか、他自治体における避難経路の検討や地域での取組事例等についても調査・研究し、地域の皆様が避難経路を検討する際の参考となる情報として整理した上で、提供してまいります。
- なお、これらは、市が個々の箇所について「安全・危険」を判定するものではございませんが、地域の皆様が現地を確認し、災害時の状況を想定しながら避

難経路を検討する際の参考となる目安や着眼点をお示しするものです。

＜質問２について＞

・ 避難所運営委員会を中心に、地域の皆様が主体となって避難経路図を作成するにあたり、市としても、質問１における調査・研究を踏まえ、避難経路の検討に必要となる情報や、作成方法・確認手順等について、助言・支援を行ってまいります。
・ また、個人情報の保護や現地確認上の制約等を踏まえ、地域で避難経路を検討する際に必要な情報や考え方についても、情報提供・助言を行うなど、地域の取組を支援してまいります。
・ なお、具体的な避難経路の選定や危険箇所についての地域としての判断、また、地域住民の合意形成については、町会や避難所運営委員会を中心に、地域の皆様で進めていただくことを基本と考えております。
・ 今回のご要望を踏まえ、質問１でお示しした調査・研究及び情報整理を進め、その結果を踏まえ、町会や避難所運営委員会等の地域の皆様に対し、避難経路の検討に必要となる情報や作成方法・確認手順等について、資料の提供、必要に応じた説明や市ホームページへの掲載等を通じてお示しする予定です。具体的な内容、提供時期及び方法については、調査・研究及び整理の進捗を踏まえ、決まり次第、改めてお示しいたします。

（回答課）危機管理課